

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 7 月 27 日 (2020.7.27)

【公開番号】特開 2018-2710 (P2018-2710A)
 【公開日】平成 30 年 1 月 11 日 (2018.1.11)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-001
 【出願番号】特願 2017-118740 (P2017-118740)
 【国際特許分類】

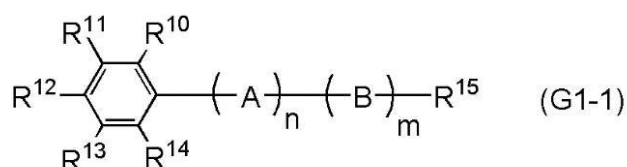
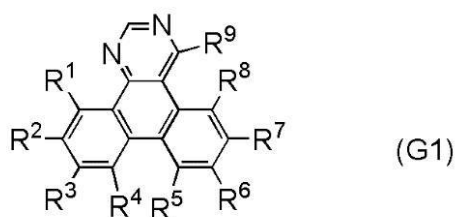
C 0 7 D 405/10 (2006.01)
H 0 1 L 27/32 (2006.01)
H 0 1 L 51/50 (2006.01)
G 0 9 F 9/30 (2006.01)
C 0 9 K 11/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D	405/10	C S P
H 0 1 L	27/32	
H 0 5 B	33/14	B
H 0 5 B	33/22	B
H 0 5 B	33/22	D
G 0 9 F	9/30	3 6 5
C 0 9 K	11/06	6 5 0

【手続補正書】
 【提出日】令和 2 年 6 月 8 日 (2020.6.8)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】
式 (G 1) で表される有機化合物。

【化 1】



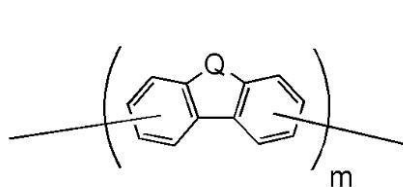
(式中、 $R^1 \sim R^{15}$ のうち、 $R^1 \sim R^9$ のいずれか一は、式(G1-1)中の $R^{10} \sim R^{14}$ のいずれかと結合し、その他はそれぞれ独立に、水素、置換もしくは無置換の炭素数1～6のアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数5～7のシクロアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数6～13のアリール基、のいずれかを表す。なお、 n は、0～3のいずれかを表し、 m は、1または2を表す。Aは、単結合、または置換もしくは無置換の炭素数6～13のアリーレン基を表し、Bは、置換もしくは無置換のジベンゾフラン骨格を有する環状構造、置換もしくは無置換のジベンゾチオフエン骨格を有する環状構造、または置換もしくは無置換のカルバゾール骨格を有する環状構造を表す。)

【請求項 2】

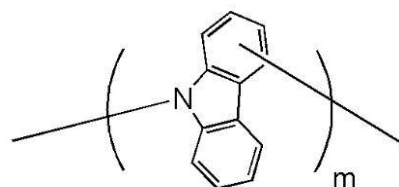
請求項 1 において、

前記式(G1-1)中のBは、下記式(B1)乃至式(B4)のいずれか一である有機化合物。

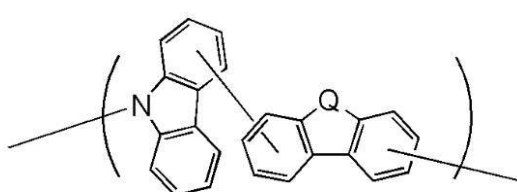
【化 2】



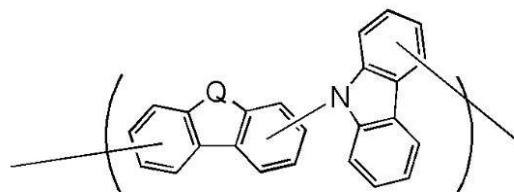
(B1)



(B2)



(B3)



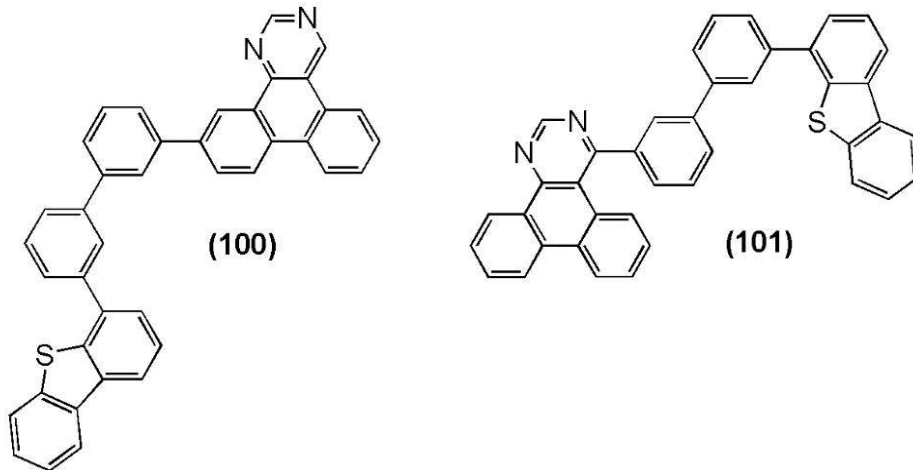
(B4)

(式中、mは、1または2を表す。また、Qは、S、N - R¹⁶、Oのいずれかであり、R¹⁶は、水素、置換もしくは無置換のフェニル基、のいずれかを表す。また、式(B1) ~ (B4)中のベンゼン環は置換基を有していても良く、前記置換基は、置換もしくは無置換の炭素数1 ~ 6のアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数5 ~ 7のシクロアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数6 ~ 13のアリール基、のいずれかである。)

【請求項3】

式(100)または式(101)で表される有機化合物。

【化3】



【請求項4】

請求項1乃至請求項3のいずれか一項に記載の有機化合物を用いた発光素子。

【請求項5】

請求項4に記載の発光素子と、トランジスタまたは基板のいずれか一と、を有する発光装置。

【請求項6】

請求項4に記載の発光素子と、接続端子、または、操作キーと、を有する電子機器。

【請求項7】

請求項5に記載の発光装置と、
マイク、カメラ、操作ボタン、外部接続部、または、スピーカのいずれか一と、を有する電子機器。

【請求項8】

請求項5に記載の発光装置と、
筐体、カバー、または、支持台のいずれか一と、を有する照明装置。